

六甲高山植物園 ヒマラヤに咲く紅いシャクナゲ ～ロードデンドロン・アルボレウムが見頃です～

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)が、六甲山上で運営を行っている「六甲高山植物園」では、ヒマラヤに咲く紅いシャクナゲ「ロードデンドロン・アルボレウム」が見頃を迎えています。

ヒマラヤのシャクナゲ「ロードデンドロン・アルボレウム」は、日本のシャクナゲよりも2週間ほど早く開花し、ルビーのような紅色の花は、咲き始めると園内にとっても華やかな景観を作り出します。当園では、現在見ごろを迎えており、今月末までお楽しみいただける見込みです。



◆ロードデンドロン・アルボレウム(ツツジ科)

ヒマラヤに生育する高さ30mにもなる常緑樹。ヒマラヤでも人口密度の高い、標高1,000m～2,000mあたりに多く分布し、ネパール王国の国花になっています。花色は変異が多く、深紅色～淡紅色まで株によって様々です。当園に咲くものは、1959年(昭和34年)西北ネパール探検隊より種子を譲り受け、大切に育てている歴史ある植物です。現在見頃を迎え、4月下旬ごろまでお楽しみいただける見込みです。

4/28(木)～6/5(日)はヒマラヤの青いケシの特別企画も開催!

六甲高山植物園 特別企画 「ヒマラヤの青いケシ～神秘の花の咲くところ～」

園内でも人気の高いヒマラヤの青いケシの特別企画。植栽展示、グッズ販売に加え、ヒマラヤの青いケシを国花とするブータンについてのパネル展示も行います。ご来園の方々に澄んだ青い花と、その花の咲く国に想いを馳せて頂きます。

①約330株のヒマラヤの青いケシの植栽展示

[場所] ガラス室 約80株(開花時期:4月下旬～5月中旬)
ロックガーデン 約250株(開花時期:5月下旬～6月上旬)

②シロヒマラヤの植物写真展示

[場所] 六甲高山植物園 西入口横ログハウス

③ブータンの写真・パネル展示

[場所] 六甲高山植物園 映像館



ヒマラヤの青いケシ



この特別企画及び関連展示は「日・ブータン外交関係樹立30周年記念事業」として、外務省から認定を受けています。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137/〒657-0101神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生～64歳)620円 / 小人(4歳～小学生)310円 / シニア(65歳以上)520円

【開園期間】3月19日(土)～11月23日(水・祝)【休園日】9月1日(木)、8日(木)

【開園時間】10:00～17:00(16:30受付終了)